

皆さんこんにちは。夏休みが終わったと思うと、急に秋めいてきました。体調を崩しやすい時期ですので、気を付けてください。9月は、3年生の進路が明確になる時期です。その姿を見ている1, 2年生も進学や就職といった自分の将来のことを考えるきっかけになるといいのではないのでしょうか。



今月は、働く時のマナーについて話をしたいと思います。
心構えとしては、「相手に不快感を与えない」ことが最低限のマナーだと意識してください。それでは、そのためにおさえておきたい5つの心構えを紹介します。

1. あいさつはハキハキと

「人とのコミュニケーションは『あいさつに始まり、あいさつで終わる』と言われるほど大切なものです」場面に合わせて明るく元気にはっきりと、自分からあいさつをしよう。

2. 時間を守る

「これも人として最低限守りたいルールです。ビジネスにおいて時間を守れない人への信頼はゼロに等しいものです」時間に余裕を持って行動し、万が一遅れる場合は必ず連絡しましょう。

3. 報告・連絡・相談を怠らない

ビジネスシーンで「ほう・れん・そう」と呼ばれる「報告」「連絡」「相談」を聞かれる前に自分から進んで上司や同僚に働きかけるようにしましょう。

4. 丁寧なコミュニケーションを意識する

話すときは、まず結論を言い、そのあとに理由、経過の順で話すと明解に伝えられます。また、『聞く』のではなく『聴く』意識を持つことが重要です。

5. 整理整頓を心がける

退社前には机の上を整え、書類や情報は会社のルールに従い、厳重に取り扱しましょう。

参考サイト <https://job.rikunabi.com/contents/manners/885/>



スクールカウンセラーの先生の相談日

石川 美智子先生（臨床心理士）

相談日 毎週 月曜日（月3回程度）

15:00～17:00くらい

9月 9日(月) 17日(火) 25日(水) 30日(月)

10月 7日(月) 21日(月)





人間がAIに負けない方法

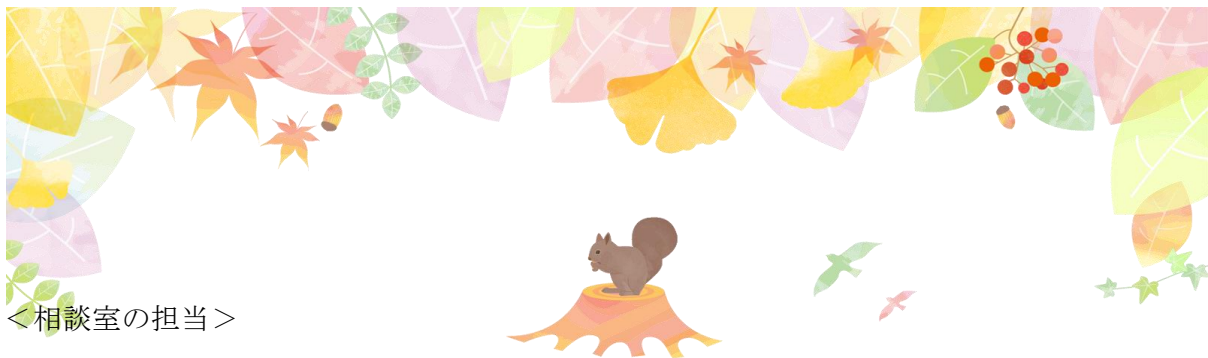
みなさんは、AI（人工知能）についてどう思いますか。そのうちAIにとって代わられるかもしれないと、不安に思っている人もいるかもしれません。では、どうすれば私たちは必要とされるのでしょうか。私たちは人間にしかできないことをする必要があります。それはどのようなことなのでしょうか。

AIは手順やルールが明確な作業が得意だそうです。ですから、情報を活用し何かを分析することなどはできるのです。しかし、いくつかの価値観をすり合わせて目標設定することができないので、その部分は人間の役割として残るとみられているようです。全体を見て総合的に判断する能力は人間にはかなわないようです。ですから私たち人間にはものごとを幅広く見る視野の広さや、離れたものを結びつける発想力が必要になってきます。

では、ものごとを幅広く見る視野の広さを身につけるにはどうすればいいのでしょうか。幅広くものごとを見るためには、様々な角度からそれらをとらえる力が必要です。そのためには様々な考えがあることを知る必要があります。いろいろな人と意見の交換をするのも良いし、本を読むのもいいでしょう。大事なことは、「まずは相手の意見をしっかり聞いて、その言い分を理解する」のです。「本に書いてあることをじっくり読み、内容を理解しようとする」のです。そうして自分の中に色々な考えを取り込むと、多様な視点からものごとを見ることができるようになるのです。多くの視点を取り入れることで、多様な見方ができるようになり、たえず自分の視点を見つめるようになるのです。そのため、人の視点にも想像力が働き、「なるほど」と共感できるようになるのです。広い視野を持ち、想像力を働かせAIに代わられないようにしましょう。

(参考：その「英語」が子どもをダメにする 榎本博明)

池田 ゆかり



<相談室の担当>

	月	火	水	木	金
休み	小林	笹原	池田	佐藤	笹原
放課後	カウンセラー	滝田容	苔米地	望月	望月

メールアドレスは so-dan@sths.ed.jp すべて小文字

